

# 3歳児1期

幼稚園生活に興味をもち、安心して過ごすようになる時期

月	4月	5月
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園当初は、泣いて保護者から離れようとしなかったり、周囲の様子をじっと見ていたりするなど、不安や緊張が強い子どもがいる。教師が傍にいたり抱いたりすることで次第に安定する。</li> <li>・一日の流れを知り、保護者と離れても迎えに来てくれることが分かってくると、教師と一緒に安心して過ごすようになる。遊んでいる途中で「ママはどこ」「もう帰るの」などと、不安そうに教師に尋ねる子どももいれば、降園準備になっても遊び続ける子どももいる。</li> <li>・教師や年長児に教えてもらったり手伝ってもらったりして、靴や帽子などを自分の目印が貼ってあるロッカーに置くようになる。</li> <li>・保護者と一緒にお便り帳にシールを貼る、制服の着脱をする中で、やり方を教えてもらいながら自分でやってみようとするようになる。</li> <li>・ままごと道具や積み木の場に興味をもち、触ったり動かしたりして遊ぶ。ごちそうを棚から全部取り出して皿にのせるなどして楽しむ子どももいる。遊具を投げたり積んだ積み木を倒したりする姿も見られる。</li> <li>・ブランコなどの固定遊具に興味をもち、戸外で遊ぶ子どもが増えてくる。他の保育室や園庭、裏庭に行く子どももいる。</li> <li>・教師と一緒に、中庭のタンポポやシロツメクサを摘んだり、ウサギを見る、餌をやるなどしたりすることを喜ぶ。</li> <li>・教師の読み聞かせる絵本をじっと見る、教師の真似をして、歌ったり手遊びをしたりすることを喜ぶ。教師の呼びかけに応じたり、話を聞こうとしたりするようになる。</li> </ul>	
	<p><b>【ねらい】先生に親しみを感じ、幼稚園生活に興味をもって安心して過ごす</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のクラスや担任の先生が分かり、親しみをもつ</li> <li>・園生活の流れが分かり、安心して過ごす</li> <li>・先生の呼びかけに応じ、返事や挨拶をしたり話を聞こうとしたりする</li> <li>・先生と一緒に、絵本を見たり、歌や手遊びをしたりする</li> <li>・園庭の草花を摘んだり、ウサギなどに興味をもって見たりする</li> </ul>	
ねらい	<p><b>【ねらい】先生と一緒に興味のある遊具などで遊ぼうとする</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な遊具に興味をもち、触ったり動かしたりして遊ぶ</li> <li>・先生の真似をして遊びながら、身近な遊具の使い方や置き場所を知る</li> </ul>	
	<p><b>【ねらい】先生に教えてもらいながら、身の回りの始末の仕方を知る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の持ち物の置き場所を知り、先生と一緒に置く</li> <li>・先生やおうちの人に手伝ってもらいながら、持ち物の始末や衣服の着脱をしようとする</li> </ul>	
内容		

# 3歳児2期

先生や友だちの近くで、思い思いに遊ぶ時期

月	5月	6月	7月
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>靴、帽子などの持ち物の始末を自分でしたり、やり方を教えてもらいながら制服の着脱をしようとしたりする。始末をしないまま遊び始める子どもや「できない」「やって」と言い、教師にしてもらおうとする子どももいる。</li> <li>教師の近くにいることで気持ちが安定し、動作や言葉で呼びかけに応じようとする。また、して欲しいことや困ったことなどがあると、「来て」と言って教師を引っ張るなどして伝えようとする子どももいる。</li> <li>遊具などを遊ぶきっかけになるように用意しておく、好きな場を見付け、自分で持ち出して遊ぶ。遊んでいる教師や友だちの近くに寄って行き、同じ場で遊ぶ子どももいる。思い思いに遊ぶ中で遊具の取り合いが起こるようになり、思い通りにならないと、泣く、叩く、教師に訴えてくるなどする。</li> <li>砂、土粘土、絵の具などの素材に興味をもち、感触を楽しみながら遊ぶ。身体や衣服につくことを嫌がり触らない子どももいる。暑くなると、水を出したり浸かったりすることを喜ぶ。水がかかるとを怖がる子どももいる。</li> <li>家から毎日のように野菜などの餌を持って来て、ウサギにやりながら見たり話しかけたりする。ダンゴムシを見付けて集めるなどして、動きや形に興味をもつ。触れずに、教師に取ってもらおうとする子どももいる。</li> <li>教師と一緒に植えた夏野菜に水をやったり、赤く実ったミニトマトを収穫し、持って帰ることを喜ぶ。中庭の草花を摘んだり、集めたりする。教師に見せたり、「ママにプレゼントしたい」と家へ持ち帰ることを楽しみにしたりする子どももいる。</li> <li>降園前にみんなで集まり、教師や友だちと歌ったり絵本や紙芝居を見たりすることを楽しみにするようになる。年中・年長児と一緒になかよし集会に参加し、同じ場で体操やダンスをするなどを楽しむようになる。大勢の場にいることで戸惑ったり、参加することを渋ったりする子どももいる。</li> <li>遊びに使った遊具や素材を、教師に教えてもらいながら元の場所に戻そうとする。まだ遊びたい思いから遊び続ける子どももいる。</li> <li>教師にやり方を教えてもらいながら、汚れた衣服の着脱、水遊びの身支度、弁当の準備や後片付けなどをしようとする。裏返った衣服の戻し方、弁当の準備、後片付けの手順など、一人一人に丁寧に繰り返し教えることで徐々に慣れてくる。一人でトイレに行くことを不安がる子どもがいる。</li> <li>健康診断を受けたり避難訓練に参加したりする。初めての園行事に不安を感じ、教師の傍を離れない、泣くなどの子どももいる。</li> </ul>		
ねらいと内容	<b>【ねらい】先生と一緒に、いろいろな素材や動植物に触れて遊ぶ心地よさを感じる</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>好きな場に行ったり遊具を持ち出したりして遊ぶ</li> <li>砂や水、絵の具などの感触を楽しみながら遊ぶ</li> <li>夏の草花や野菜に興味をもち、水やりをしたり摘んだりする</li> <li>身近な生き物などに興味をもち、見付けたり触ったりする</li> <li>ウサギを見たり餌をやったりしながら親しみをもつ</li> </ul>		
	<b>【ねらい】先生や友だちの近くで安心して遊ぶ</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>先生や友だちの近くで遊ぶことを楽しむ</li> <li>して欲しいことや困ったことを、先生に動作や言葉で伝えようとする</li> <li>先生や友だちと一緒に歌を歌ったり、簡単なリズム遊びをしたりすることを楽しむ</li> <li>絵本や紙芝居に興味をもち、見たり聞いたりする</li> </ul>		
<b>【ねらい】先生と一緒に、身の回りの始末などをしようとする</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの始末の難しいところを先生に手伝ってもらい、自分でしようとする</li> <li>先生にトイレの使い方や弁当の手順を教えてもらい、しようとする</li> <li>先生や友だちと一緒に弁当を食べることを楽しむ</li> <li>先生にやり方を教えてもらいながら、遊んだ後の片付けをしようとする</li> </ul>			

# 3歳児3期

時々友だちとかかわりながら、好きな遊びを見つけて楽しむ時期

月	9月	10月	11月	12月
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏休み明けは、張り切って登園する子どもが多い。次第に保護者と離れる際に不安になる、持ち物の始末や、降園準備に時間がかかるなどの姿も見られる。</li> <li>制服が冬服になると、袖がある、ボタンが小さいなどから戸惑い「やって」と要求してくる子どもが増えてくる。やり方を聞いたり手伝ってもらったりして少しずつできるようになる。</li> <li>友だちが集まっている場に行って遊ぼうとする。同じ物を持つ、身に付ける、同じようなことをするなど喜び、時々話しかけたり、呼びかけに応じたりする。</li> <li>戸外へ出て、走る、跳ぶ、転がるなどして体を動かして遊ぶことを楽しむ。運動会をきっかけに年中・年長児がしている遊びにも目が向いてくる。</li> <li>広告紙や筒、たんぼやハサミなど、目新しい素材や用具で遊ぶことを楽しむ。</li> <li>教師と一緒に、遠足で見た動物やお話の中の人物になって動いたり話したりすることを喜ぶ。カスタネットなどの楽器に興味をもち、音を鳴らすことを楽しむ。</li> <li>してほしいこと、嫌なこと、思ったことなどを言葉で伝える子どもが増えてくる。泣いたり叩いたりして自分の思いを表す子どももいる。「私も欲しい」などの自己主張から、物の取り合いになりいざこざになる。交替に使う、順番を待つなどができるようになってくる。</li> <li>木の実や落ち葉を拾う、色付いた木の葉やヒメリンゴなどを見付けたり、収穫したサツマイモを食べたりして、身近な秋の自然に目が向いてくる。</li> <li>ウサギを撫でて触れることを喜ぶ。追いかけたり、おなかを強く持ったりする子どももいる。</li> <li>なかよし集会やなかよし弁当に参加したり、年中・年長児のごっこ遊びのお客さんになり、遊び方を教えてもらう、一緒に遊ぶなどしたりして、異年齢児に親しみをもつようになる。</li> <li>教師の真似をしながら、汚れを落としたり一緒に運んだりして片付けようとする。そのままにして保育室に戻るなどの姿も見られる。</li> <li>弁当の準備や後始末、用便などを自分でしようとする子どもが増えてくる。</li> </ul>			
	<p><b>【ねらい】先生に見守られながら、いろいろな素材や用具、自然に触れて遊ぶ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>先生や友だちと遊ぶ中で、園生活のリズムを取り戻し、安定して過ごす</li> <li>目新しい素材や用具に興味をもち、自分なりに触れたり使ったりして遊ぶ</li> <li>木の葉や木の実を拾ったり集めたりなどして、身近な秋の自然に触れて遊ぶ</li> <li>先生や友だちと一緒にサツマイモを掘ったり食べたりすることを楽しむ</li> <li>ウサギに親しみをもち、触れたり餌をやったりしてかかわろうとする</li> <li>友だちのしていることに興味をもち、同じ物を持って遊んだり、同じようなことをしたりする</li> </ul>			
ねらいと内容	<p><b>【ねらい】先生や友だちと同じ場で遊んだり真似をしたりして、一緒に過ごす楽しさを味わう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クラスの友だちと、動物などになって動いたり話したりすることを楽しむ</li> <li>先生や友だちと一緒に、音楽に合わせて体を動かしたり楽器を鳴らしたりすることを楽しむ</li> <li>年中・年長の友だちや祖父母の人たちから言葉をかけられたり一緒に遊んだりする中で親しみをもつ</li> </ul>			
	<p><b>【ねらい】体を十分に動かして遊んだり、先生に見守られながら自分で身の回りのことをしようとする</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>先生や友だちと一緒に、戸外で走る、転がる、跳ぶなどして全身を動かして遊ぶ</li> <li>先生に見守られながら、制服や衣服の着脱、用便、弁当の準備や後始末などを自分でしようとする</li> <li>先生や友だちと一緒に、絵表示を見ながら遊具を置いてあった場所に片付ける</li> </ul>			

# 3歳児4期

気の合う友だちとふれあいながら、じっくりと遊びを楽しむ時期

月	1月	2月	3月
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気の合う友だちや教師を誘ったり、自分から加わったりして遊び始める。同じ遊びを繰り返して楽しむなど、一つの遊びにじっくりと取り組む姿が見られる。</li> <li>・戸外で鬼遊びやランニングをしたり、パカポコや大型二人乗り三輪車などの遊具で遊んだりして楽しむ。教師が誘っても「寒いから嫌」と言って室内遊びを好む子どももいる。</li> <li>・教師や友だちの話に興味をもって聞こうとする。呼びかけに言葉で応じたり、嬉しいことや驚いたことなどを知らせてきたりする。担任以外の教師や職員にも親しみを持ち、挨拶をしたり話しかけたりする。</li> <li>・思いを強く通そうとして、叩く、押すなどしたり口調が強くなったりすることがある。</li> <li>・友だちが泣いたりけがをしたりしていると、教師に知らせに行ったり「大丈夫だよ」と言葉をかけたりする。</li> <li>・教師や友だちと一緒に、簡単なストーリーのお話遊びや楽器遊びをすることを喜ぶ。</li> <li>・年中・年長児の遊びに興味をもち、見たことや聞いたことを真似して遊ぶ。名前を覚えて呼んだり、遊びに入ったりする姿も見られる。</li> <li>・霜柱、雪、氷などを見つけて喜んだり驚いたりし、触れる、集めるなどする。</li> <li>・節分があることを知り、鬼の絵本を見たりお面をつくったりする。鬼になって、友だちを追いかけたり、豆に見立てたものを撒いて追い払ったりして遊ぶ。</li> <li>・教師と一緒に植えたチューリップの芽やツクシなどを見付け、生長や春の訪れを感じている。</li> <li>・言葉をかけると、片付けようとする子どもが多くなる。布を畳む、色や形に分けて戻すなど分類して片付けようとする。その場から離れる、途中でやめるなど片付けに気持ちが向かない子どももいる。</li> <li>・短い時間で身の回りの始末ができるようになる。一人でできるが、友だちとの話に夢中になり時間がかかる子どももいる。</li> <li>・教師や保護者からもうすぐ年中組になることを知らされたり、年中児に保育室を教えられるりして、進級することを楽しみにする。</li> </ul>		
ねらいと内容	<b>【ねらい】先生や友だち、遊具、動植物に自分なりにかかわって遊ぶ</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内の先生や友だちに親しみを持ち、話しかけようとする</li> <li>・好きな遊具を見付けてじっくりと遊ぶ</li> <li>・霜柱や雪などの冬の自然現象を見たり触れたりする</li> <li>・春の訪れを感じながらチューリップの生長を喜んだり草花で遊んだりし、生き物に親しみを感じる</li> </ul>		
	<b>【ねらい】思いを出しながら先生や友だちと遊ぶことを楽しむ</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分から遊びに入ったり、気の合う友だちを誘ったりして遊ぶ</li> <li>・見たことや聞いたことを遊びに取り入れる</li> <li>・思ったことや感じたことを言ったり、友だちの話を聞いたりする</li> <li>・友だちの思いに気付いたり、友だちのことを心配したりする</li> <li>・先生や友だちと、簡単なストーリーに合わせて動きや言葉で表現したり、曲に合わせて楽器を鳴らしたりすることを楽しむ</li> </ul>		
<b>【ねらい】進んで戸外で遊んだり、身の回りのことを自分でしたりする</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・寒くても、走る、漕ぐなどして、戸外で全身を動かして遊ぶ</li> <li>・持ち物の始末、衣服の着脱、食事、用便などを自分でする</li> <li>・先生や友だちと一緒に、分類して片付けようとする</li> </ul>			